

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
周産期ハイリスク実習	2	前期	1	実習 45時間
担当教員	久保幸代、志村千鶴子、下睦子、潮田千寿子			
授業概要	周産期のハイリスク状態にある母児とその家族の特徴やケア、新生児医療システムの現状や課題について理解を深める。特に MFICU・NICU・GCU におけるハイリスク母児の実習を通して、対象のアセスメント能力を高めるための知識・技術を修得し、高度医療に対応できる基本的能力を身につける。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. MFICU・NICU・GCU におけるハイリスク母児のアセスメントができる。 2. 受け持ち対象となるハイリスク妊産婦に必要なケアを指導の下に実践できる。 3. ハイリスク状態にある母児の特徴やケア、新生児医療システムの現状や課題を明確にできる。 			
履修条件	特になし			
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・MFICU に入院中の妊婦を1例受け持ち、治療を必要とする妊婦の生活に即した助産過程を通して、異常妊婦のケアを学ぶ。 ・NICU 入院児の病態・ケアを理解すると共に、妊娠中の健康管理および、分娩時のケアの意義、入院児の親に対する家族支援、新生児医療システムについて考察する。 ・不妊治療の実際を見学し、治療中患者の学習場面の参加やカウンセリング事例に関する臨床講義等を通して、個別的・継続ケアの意義や倫理的側面の課題についての実際を学ぶ。 			
教科書	特に指定しない			
参考書	特に指定しない			
評価方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成行動による総合的評価(60%) ・実習記録による学習成果(40%) 			
事前・事後学習	<p>事前学習：受持ちに関する、身体的・心理的状況について事前に学習し、ケア計画を立案する。不妊治療や、MFICU、NICU における助産ケアの特徴について復習しておく。</p> <p>事後学習：受持ち事例を通して、ハイリスクな妊産婦・新生児とその家族のケアを考察する。</p>			
備考	特になし			